

平成 31 年 網走市議会
総務経済委員会会議録
平成 31 年 3 月 8 日 (金曜日)

○日時 平成31年 3 月 8 日 午前10時16分開会

○場所 委員会室

○議件

1. 議案第39号 平成30年度網走市一般会計補正
予算中、所管分

○出席委員 (8名)

委員 長	金 兵 智 則
副 委 員 長	立 崎 聡 一
委 員	小田部 照
	川原田 英 世
	永 本 浩 子
	古 都 宣 裕
	松 浦 敏 司
	渡 部 眞 美

○欠席委員 (0名)

○委員外議員 (1名)

議 長	工 藤 英 治
-----	---------

○傍聴議員 (2名)

平 賀 貴 幸
山 田 庫 司 郎

○説明者

副 市 長	川 田 昌 弘
建設港湾部長	石 川 裕 将
都市管理課長	高 橋 勉
都市管理課参事	柏 木 弦

○事務局職員

事 務 局 長	大 島 昌 之
次 長	細 川 英 司
主 事	早 渕 由 樹

午前10時16分開会

○金兵智則委員長 それでは、ただいまから総務経済委員会を開会いたします。

本日の委員会では、付託されました議案 1 件について審査をいたします。

それでは、議案第39号平成30年度網走市一般会計補正予算中、所管分、道路橋梁費補正予算について説明を求めます。

○柏木弦都市管理課参事 追加議案資料の 2 ページをごらんください。

平成30年度一般会計道路橋梁費除雪事業、除雪作業車管理事業、ロードヒーティング管理事業の補正予算について御説明いたします。

補正の理由及び内容であります。今冬の気象状況や道路状況の影響により、郊外の吹き込み除雪や防滑剤散布車等の出動回数などが増加しております。

さらに、除雪車両の修繕等の費用も増加している状況であります。

除雪関連経費につきましては、今後の気象状況により変動することも予想されますが、今後の経費不足が見込まれることから、除雪事業及び除雪作業車管理事業並びにロードヒーティング管理事業に 1 億 2,000 万円を追加補正するものであります。

補正額であります。 (1) 除雪事業につきましては、補正前の額が 3 億 9,493 万 9,000 円、補正額が 9,600 万円、補正後の額が 4 億 9,093 万 9,000 円となり、財源内訳は記載のとおりであります。

(2) 除雪作業車管理事業につきましては、補正前の額が 2,385 万 5,000 円、補正額が 1,000 万円、補正後の額が 3,385 万 5,000 円となり、財源内訳は記載のとおりであります。

(3) ロードヒーティング管理事業につきましては、補正前の額が 8,683 万 4,000 円、補正額が 1,400 万円、補正後の額が 1 億 83 万 4,000 円となり、財源内訳は記載のとおりであります。

説明は以上でございます。

○金兵智則委員長 それでは質疑に入ります。

○川原田英世委員 何点か伺いたいと思うんですが、例年除雪で毎年いろんなクレームの電話があると思うんですね。

やり方がどうだとかどうなってるんだとか、例年どのくらいクレームの件数の電話があるのか、そしてことしの状況がどうなっているのかをまずお伺いしたいと思います。

○柏木弦都市管理課参事 今年度の件数自体は、ト

ータル件数は押さえていないんですけれども、毎日、特にことしについては、排雪が入らないのかだとかっていう件数が1日数件ずつ程度は入っている状況です。

○川原田英世委員 その件数は例年と比べて多いんでしょうか、少ないんでしょうか。

○高橋勉都市管理課長 今参事から御答弁したように、除雪の問い合わせっていう形では結構な件数があります。

実際クレームというか苦情というものについては平年と比べてことしは特に多いとか、そういう印象は、数字的にトータル集計してないもんですから、何とも言えませんけれども、電話等がほとんどですけども、特にことしについて、そういったクレームが多いという印象は持っておりません。

○川原田英世委員 多いという印象を持ってないということですけどもちょっと、どういう状況なのかあれなんですけど、非常に体制がよくないということ最近よく耳にします。

例年、歩道を除雪して玄関の前に吹き飛ばすということはなかったんですけど、ことしは玄関の上に置いて行っているとか、いろんなところで声が聞こえていて、どうしてそうなるんだという問い合わせも結構僕のほうにも来てます。

例年と全然状況、体制違うんじゃないかということで、話を伺っていると、今までやってた人から変わって技術的にうまい下手じゃなくて、どこにどんな障害物があるのかわからなくて何か怯えながら除雪してるんじゃないのかと、そういった話もよく聞くということで、いろいろと委託になった部分で弊害が出てるのかなって感じがしてきたんですけども、そういった部分、何か認識してる部分ありますでしょうか。

○柏木弦都市管理課参事 今年度から全面委託になったんですけども、これまでと除雪の体制自体は大きくは変わってないんですよ。

変わってないんですけれども、地域によっては、オペレーターが交代したとか、そういう事情はありまして、まだ慣れてないエリアというのは確かにあると思いますけれども、基本的には大きく変わってるとい認識はございません。

○川原田英世委員 地域によってはオペレーター変わってるといことで、大きく変わってるところはないところなんですけども、そういったところで変わったときに、引き継ぎというか、こういう

地域の特性だとかそういうのを引き継ぐだとか、そういった作業というのはちゃんとされているんでしょうか。

○高橋勉都市管理課長 先ほど御質問のあった歩道の除雪、これについては、今年度から全面委託にはなりましたが、従来より市の職員が行っていた箇所はございません。

ですので、それぞれ委託している事業者さんのほうで、従業員の方がローテーションで変わられたりしているということはあると思います。

御質問のところなんですけど、引き継ぎということなんですが、これについては道路に例えば大きな障害物があるとか、ここのところはこういった見えないものがあるよというものについては、随時、うちの市のほうに業者さんから引き継ぎをされて、また業者さんに返すというような方法をとってますので、先ほど参事が申し上げたような慣れないがゆえにというミスが起きることはあると思います。

ただ、特に方法を変えたですとか、そういったことは全くございませんので、今御質問されてようなことはないと考えております。

○川原田英世委員 いろんなところで声は聞こえたので質問させていただきました。

それで全面民間委託になって予算が補正ということで、1億2,000万、全体でというロードヒーティングも含めてということですけども、ここに補正の理由及び内容で気象や道路状況の影響によりというふうになってますけど、例年に比べてとてもそんな状況が悪いとは到底思えないんですが、それでいて補正になっているいま見ええない部分があるんですけど、もう少し詳しく説明して下さい。

○柏木弦都市管理課参事 確かにことしの冬は雪は全体的に少なかったんですけども、昨年と比較しますと、ことしの雪というのは前半の1月までというのはそこそこの降雪量がございまして、昨年度は、前半は雪が少なくて後半に雪が多少多かったという認識はあるんですけども、ことしは前半で降雪があったもんですから、また郊外のほうで、市街地はちょっと降雪が少ないという印象があったかもしれないんですけども、郊外のほうで結構吹き込みの除雪の出動がちょっと多くて、風による道路の吹き込みが結構あったもんですから、それに対する出動回数か多かったという状況がございます。

○金兵智則委員長 休憩します。

午前10時27分休憩

午前10時27分再開

○金兵智則委員長 再開いたします。

○柏木弦都市管理課参事 ことし除雪の種類が、全体の一斉除雪と部分的に行う除雪があるんですけども、一斉除雪に関しては、見込みも含んでるんですけども、今年度は出動回数が15回、昨年度が10回でした。

過去の5年間の平均が19回ほどございます。

部分的な除雪、拡幅除雪ですとか吹き込み除雪なんかを行います部分的な除雪というのが、見込みも含みですけども本年度が65回ございます。

昨年度が33回、過去5年間の平均が52回となっております。

融雪材とか微砂利の散布を行います防滑の作業についても、近年は上昇傾向にございます。

降雪が少ない分、圧雪アイスバーンの状態が多くて出動回数がふえてきております。

あとロードヒーティングに関しまして、消費する電力量というのは、今年度、過去の平均とそう大きくは変わらないんですけども、電気料金の値上がりが若干ありまして、電気料金のうち、燃料費調整単価というものと再生可能エネルギー発電促進付加金というもので構成されておまして、そちらが昨年の4月から賦課金のほうが上がってきております。

その結果、昨年度と比較しますと13%程度料金が上昇しておりまして、シーズンの電気料金トータルで1,000万円以上、上昇する見込みでございます。

以上です。

○川原田英世委員 状況は理解をしました。

今現状では、この補正は、今後必要になってくると見込まれるということとされるということで、電気料金については13%もあるということですから、かかわってくるんだというふうに思いますけれども、その見込みということだというふうに思うんですが、全体的にちょっと補正する上での話も含めてなんですけども、全面委託になって初めてことしされるということで、それでもこういうふうに補正が組まれてこういうふうになってくんだなということ認識しながらですが、その全面委託したことによるメリットっていうのがよくわからないんですよね。

そこをどのように捉えているのかお伺いします。

○高橋勉都市管理課長 全面委託のメリットのお話については、委託前の中でさまざまさせていただいたかというふうに認識してますけど、やはり1番は

安定的に事業を実施していくためにというものもございまして、民間企業に委託をすることによって、年間を通して仕事が発生すると。

そういったことに伴って、民間の活性化に雇用にもつながっていくということが最大のメリットかなと思っております。

○川原田英世委員 冬季間のそういった、仕事の条件というか、それを押さえていくということのメリットだということで理解しました。

とりあえず質問は以上です。

○松浦敏司委員 こういう状況の中で、私も地域を訪問してますと、やはり、排雪なぜことしうちの地域しないんだっていう声が、結構聞かれます。

それから除雪が下手になったという声も聞かれます。

そこでちょっと伺いたいんですけども、市で直轄で除雪していたところと、オペレーターっていうのは、市の職員では何人いたんでしょうか。

○柏木弦都市管理課参事 昨年度までは9名のオペレーターが直営ではおります。

○松浦敏司委員 実はそういった除雪に関係するひとからお話を聞いており、市の職員でオペレーターが非常に技術の高い、トップクラスの人がいたんだと。

その人たちが実はいなくなったということで、結果としてやはりその技術といえますか、熟練にならなければなかなか除雪もうまくならないと思うんですけども、そういう声を聞きまして、確かにその人たちが違う職場に行って、そしてそこが民間になるということで、不慣れもあるし、テクニク的なこともあるんだろうと思うんですけども、そういった影響もあってそういう苦情が何でことしこんなに下手そなんだっていう声が、私にも相当聞こえてきます。

というか訪問活動する中で直接言われているというようなことで、やはり私はそういった優秀なオペレーターを結果として違う職場に行かざるを得なくなって、それを補う民間の技術がなかなか追いついていないということも、今の除雪の苦情の要因の一つであるんじゃないかというふうに思うんですが、その辺どのようにお考えでしょうか。

○高橋勉都市管理課長 先ほど、9名の直営部隊がやっていたというお話を参事のほうからさせていただいたんですけど、もともと直営で実施していた除雪というのは、市役所近辺も含めて、南東、南西

部、町なかが主でやっておりました。

こちら早朝ごらんになった方もいらっしゃるかと思うんですけど、通常使うショベルローダーではなくて、除雪グレーダーのほうで除雪をするのがメインの直営の除雪でありました。

通常、民間企業でもグレーダーというのはほとんど使われていない作業機械でして、なかなか熟練するには、それこそ個人差はあるものの、やっぱり短期間では習得は難しい作業だということもありまして、本年度の除雪の中で、市のもともとグレーダー担当していた職員がまだ残っておりますので、その職員が民間企業にずっと指導をしていると。

やはりこういった特殊な機械というのは、やらなければ上達もないでしょうし、やっぱりちょっと言葉が適切かどうかわかんないですけど、練習しなければうまくならないというのが現実だと思います。

そういったこともありまして、初年度の部分で特に町なかの部分でそういった先ほどおっしゃられたような、住民からの下手になったですとかそういうお話があったかと思うんですが、やはりそういったそのつきっきりの状態で見ながら、まずかった場所については、手直しをしていっているっていうのは現状でありますけど、これはやっぱり現在民間へ引き渡している過渡期的なもので、やはり一定のそういった状況は、市の職員、残っている職員がカバーしていくしかないかなと考えているところであります。

○松浦敏司委員 やはり数をこなさないとやっぱり、個人によりますけどもうまくなれないといえますか、それと道路の状況を予測しながら、結局機械を動かすわけですから、そういった地域の特性なんかも頭に入れながらというようなこともありますので、その辺はぜひ市の優秀な職員の指導といえますか、それをしっかりやってほしいというふうに思いますし、民間においても、やはりまだまだ除雪に対する市民の不満の声っていうのはあります。

そして私自身も実際に行ってみると、かえってこれなら除雪しないほうがいいんじゃないかというぐらいザクザクになっているところも場所によってはあるということで、そういったことも含めてし、市としてしっかり民間にも、その辺指導をしてほしいということであります。

以上です。

○金兵智則委員長 他にございますか。

○永本浩子委員 除雪の件はいろんな声が上がっているというのは、私も聞いておりますけれども、今ここでちょっと確認なんですけれども、先ほど電気料金が昨年の4月から13%もアップしたということで、今回補正がかなりされたという話がありましたけれども、今、電気も自由化されて安い電気を選ぶような時代になって、当然市のほうもそういったところで検討されてると思うんですけども、その辺のところ、こういった検討でこの電気の契約をされているのか、ちょっと聞かせたいと思います。

○柏木弦都市管理課参事 電力会社については、新電力の会社から聞き取り等を行いまして、ロードヒーティングに関しては、新電力会社の仕組みにちょっとなじまないといえますか、余りメリットがないということの話をいただいております。

それで、現在は引き続き北電との契約で行ってる状況です。

○永本浩子委員 一応検討したけれどもなかなかそういった面では、余り大きなメリットがないっていう今の結論だということでした。

これからまた少しづつ状況も変わってくることもあるかと思うので、都度またそういった点も、皆さんの税金を使った事業なので、少しでも安く安定的に供給できる場所がないかっていう点は、ぜひアンテナをめぐらせて検討していただきたいと思います。

以上です。

○金兵智則委員長 他にございますか。

○小田部照委員 今いろいろ各委員からお話ありましたが、今年度から全面的に除雪・排雪民間に委託ということですが、水面下では何年も前から徐々にそんなお話もありましたが、今年度から各委員ありましたように、除雪のやり方、排雪のやり方、苦情も多いと、各業者で全然違うというようなお話でしたが、今までこう経緯も含めて民間委託するに当たって、徐々にチビロータリーを委託した職員がメインに乗ってたグレーダーなども、そういった準備が余りにも今までスムーズに急にぼんといったのが一番の要因ではないのかなと、私は現場でいろいろ話を伺ってると思うんですが、その辺はどのように考えていますか。

○高橋勉都市管理課長 ただいまの質問の意味がちょっと理解できなかったので再度、もう一度お願いします。

○小田部照委員 今年度から初めて民間委託になったということで、いろいろ今までとは、直営でやっていたときとは違うんじゃないかというような市民の意見、各路線の配置、いろいろさまざま新体制ということで変わっていると思うんですよね、オペレーターも含めて。

今までも民間委託に向けて、各作業車を委託していった中で、最終的に1番技術の必要なグレーダー3台、これが市の直営のほうで、職員のほうで技術の慣れた方でやっていたんですが、その辺の更新、技術も含めた、指導も含めた、更新も含めて、余りにも急に任されたことによってなかなか、そういった経緯がもう少し準備ができていれば、このようなことにはならなかったのかなと思う部分があるんですけども、どうでしょうか。

○高橋勉都市管理課長 先ほども若干説明申し上げたんですけど、これまでも部分的な委託をしてきた経過がございます。

昨年、全面委託ということですが、やはり1番最後にネックとなったのが、通常民間企業でもほぼ使われることのないグレーダーがやっぱり1番その大きなものだったのかなと。

それこそ除雪ローダーでありましたら、夏含めて民間企業でも、それぞれその作業に従事されている方はたくさんいらっしゃるんですけども、やはりその乗ったことのない特殊な車両ということで、さすがに初年度は一生懸命頑張って、民間企業の方も一生懸命習得に努力していただいておりますけど、やはりそのベテランとの差はやっぱりあるのは当然だと思います。

ただ、そういったものについても先ほどの話と重複するかと思うんですけども、きょうよりもあした、あしたよりもあさって上手になろうというようなことで、市のほうの職員も3名おりますが、指導する側も、それから教えてもらう民間企業の方ですけど、そちら側も双方で一生懸命目指すところは一緒で、いい仕事しようねということで、日夜頑張っているところでもありますので、やはりこういった形を市民の皆様からのいろいろ寄せられる、いわゆるクレームですとか、そういったものにも細やかに対応は今後もしていきたいと考えています。

○小田部照委員 現場の方々は、日々毎日一生懸命頑張っているのは重々承知した上で、今までの経緯も含めて、もう少し早く、グレーダーの指導を徹底していればもっとよかったのかなという意味で、今

お話させていただきました。

全面委託となって1年目なので、さまざまなこういった苦情やもトラブルあると思いますが、何年かは軌道に乗るまでは何年かかかるのかなと思いますが、各路線を持っている各業者さんの一定程度の決まった程度の除雪、排雪、余りにもばらつきがないような指導をしていただきたいと思います。

その辺はどうでしょうか。

○高橋勉都市管理課長 それぞれ委託している、その路線を受け持っていられる、それぞれの事業者さん含めて、これは永遠のテーマではありますけど、地域で差が出ないような除雪は常に指導して、今後もまいりたいと思いますが、いかにせん道路の状況、風向きですとかさまざまな状況で、どうしようもならない、どうにもできない場所等もございます。

そういった特別なものは除いて、今までもそうですし、今後もより市民の皆さんが快適に走行できる危険がない道路をとというものを、冬季間の除雪も心がけるよう今後とも指導してまいりたいと思います。

○金兵智則委員長 他によろしいですか。

なければ、ここでお諮りをいたします。

議案第39号平成30年度網走市一般会計補正予算中、所管分につきましては、全会一致により原案可決すべきものと決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

決定をいたしました。

委員・理事者から何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、これで総務経済委員会を終了いたします。

お疲れさまでした。

午前10時47分閉会